|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究テーマ** | 地方創生演習実施時間管理システム  －管理用Webサーバ開発－ | |
| **学生名** | 岡美波　吉田朝香 | |
| 1. **背景**   本校では、地域の持つ課題をボランティア活動等の実体験によって解決を目指す選択科目「地方創生演習」がある。本科目は、3年もしくは2年間に30時間以上の実習を行う必要がある。実習は、校外や複数の教員が担当することもあり、最終年度に各教員が担当したExcelファイルを集計して単位認定を行っている。学生は、実習時間の累計を確認することができず、複数年かつ複数の教員が担当するための時間の管理が煩雑になり、ミスを生じる恐れがある。  本研究は、学生の実習時間数を効率的に管理することができるシステムを開発する。また、集計におけるミスを減らし、教員の負担を減らすことができる。さらに、学生の計画的な単位取得を可能にすることを目的とする。   1. **システム概要**   本システムの構成図を図1に示す。実習時間の登録は、スマートフォンで行う。システムの機能は、管理者機能と利用者機能とする。管理者機能は、本科目の実習先、実習時間、受講者の学生を管理する。利用者機能は、本人の実習時間を管理する。管理者機能はPCから、利用者機能はスマートフォンからアクセスすることができようにレスポンシブWebデザインを適用する。これらのWEBページは、MySQL、HTML、CSS、PHPを使用して開発する。    図1　システムの構成図   1. **管理者機能**   実習先や管理者、学生の実習時間などの管理を行うことができる。これらの管理は登録、変更、削除が可能である。 | | 図2　管理者のホーム画面   1. **利用者機能**   利用者は次のような機能を利用することができる。   1. 新規登録機能   本科目を受講する学生がIDとパスワードを設定し、本システムを利用することができる。  図3　新規登録画面   1. 閲覧機能   実習時間の確認、検索などを閲覧できる。  図4　利用者のホーム画面   1. **今後の課題**   スマートフォンアプリとの連携  本システムの完成  論文作成   1. **終わりに**   本システムは、複数の場所での勤怠管理や実習時間の管理を可能とする。実習時間の認証の方式は、スマートフォンを提案し、イントラネットやLANに接続できない環境においても利用することができる。提案システムはスマートフォンだけあれば導入できるため、勤怠管理をする場面に応用可能である。今後、。実証実験を行い、システムの利便性について検証する。 |